あおもり家畜衛生情報　Ｎｏ．５　令和５年８月

★東青地域県民局地域農林水産部 青森家畜保健衛生所
★東青地区家畜衛生推進協議会

夏季休暇期間中におけるアフリカ豚熱、豚熱等の防疫対策の徹底について

- 本年２月にシンガポールで初めてアフリカ豚熱の発生が、国内では、本年７月に兵庫県の養豚農場で新たに豚熱の患畜が確認されました。野生いのししについても、岩手県や宮城県で感染が確認されており、引き続き警戒が必要です。
- 昨年１０月の入国制限撤廃以降、訪日外客数が増加していることに加え、これから夏季休暇期間を迎えることから、日本人観光客の海外との往来が多くなることが想定されます。
- そのため、**アフリカ豚熱、豚熱**の発生地域からの人・モノの移動が増加することが予想され、病原体の**国内への侵入リスクが極めて高い状況**になると考えられます。
- 畜産関係者の皆様には、次の４点について再度確認をお願いします。

１　**海外渡航の自粛・輸入が禁止されている肉製品の持込み防止**

２　**手指の消毒**や**専用長靴の着用**など、衛生管理区域への**病原体の持ち込み防止対策**

３　適切な**防護柵**や**防鳥ネット**等の**設置及び点検**などの**野生動物の侵入防止対策**

４　家畜の**健康観察**及びアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱の**特定症状の早期発見・早期通報**の徹底

CSF（豚熱）

2018年9月以降
国内続発中

耳翼・四肢の紫斑

または

同一豚房（豚舎）内で
・40度以上の高温
・便秘下痢、血便
・結膜炎（めやに）
・歩行困難、後躯麻痺、
・ひね豚
・流死産
・皮下出血、紅斑
を呈した豚の増加が見られる

耳翼の紫斑

元気がない

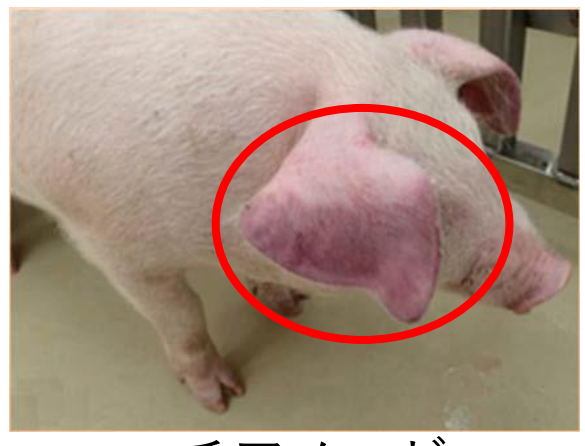
結膜炎
写真出典：岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しいけいれんなどの神経症状・皮下出血による紫斑（尾翼・尾・腹部・内股部）を呈し死亡

ASF（アフリカ豚熱）

アジア諸国で
発生確認

死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100％に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

FMD（口蹄疫）

３９℃以上の発熱

と

・泡状のよだれ
・歩き方がおかしい
・起立できない
・泌乳停止あるいは
乳量の大幅減少

いずれかの
症状を示し

**口の中、唇、鼻、蹄、乳房のいずれかに
水疱、びらん、潰瘍
または瘢痕がみられる。**

蹄球部皮膚のびらん、潰瘍

鼻端の水疱

鼻平面の潰瘍

乳房、乳頭の水疱、
びらん、痂皮

上記の症状を見つけた場合、
直ちに当所へ連絡してください。

青森家畜保健衛生所
電話：０１７-７６４-１７４４　　夜間･休日：０９０-２２７４-０４７４